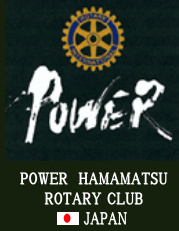


国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

ニューパワーを発揮してみんなでつながろう

RI会長 マーク・ダニエル・マローニ / 第2620地区ガバナー 安間みち子 / 会長 小田木基行 / 幹事 堀内善弘
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークアクトシティ浜松4307号室 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC



ロータリーは
世界をつなぐ



第782回例会10月1日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松3階 チェルシーの間
- 司会：寺田洋平 曾布川美登理 ■点鐘：小田木基行 ■週報：村木則予
- ロータリーソング：手話「希望のエナジー」
- ゲスト：浜松磐田信用金庫 営業店統括部 地域貢献課 課長米澤浩祐様
天竜浜名湖鉄道(株) 地域連携センター センター長 伊藤文俊様
米山記念奨学生 サイ・ピョー・ミエン・マオさん

出席報告/スマイル報告

会員数 78名 (内出席免除会員2名)
出席数 64名 出席率 84.21%
前々回出席率 73.33%

- ① 中野敬司：2日前に偶然チケットが手に入り、エコパスタジアムで日本対アイルランド戦を見てきました…

会長挨拶

10月に入りクルー
ルビズも終了して本
日はネクタイを締め
てきましたが、まだ
まだ暑くネクタイを
取りたくなりますね。



9月11日に「認知症予防は可能か？」をテーマで日
本早期認知症学会の名誉理事の志村先生の講演会に出
席しました。山下さん、奥山さんもいらっしゃいまし
た。αアミノイドが原因で、CKPT 検査で脳の陰りを検
出して進行度合いを検査すること。認知症対策も
進んでいるんだなと感じました。

認知症予防に効果ありと言われているのは「意欲」
「自立」「交流」であると。仕事、趣味、恋愛に意
欲を持って自分のことは自分で動く、そして家族など
とのコミュニケーションではなく多少気を遣う仲間と
の交流が認知症予防に良いとのこと。

ひとつ気を付けなければいけないのは、認知症と精
神疾患を間違えることです。認知症を躁うつ病と間違
えて薬を服用すると認知症がどんどん病状が進んでし
まうとの事。自分も含めて健康 元気に意識して生活
したいと思います。

幹事報告

- ロータリーの友配布 前から読んで後ろから読んでも読めるようになっている。ロータリー会員の義務の一つ、ロータリーの友を読む。投稿もできる。地区ホームページには投稿制度ある。(投稿したら一声幹事にお声がけを)
- 10月よりネクタイ着用

委員会報告



長期ビジョン検討委員会
金山土洲

10回ほど高柳さんからメ
ールで大木トオルさんの読売
新聞時代のエピソードを記し
た新聞記事を発信している。
まだ読んでない人がかなり多
い。大木さんには当ロータリ
ーに12月3日に来ていただ

く。12月2日に前泊で来られるのでみなさん都合つき
ましたら食事会にご参加ください。協力お願いします。

花のリレープロジェクト
浜松磐田信用金庫
米澤様、伊藤様 ご挨拶

昨年数力所スタート、今
年11月9日に植栽を願
います。場所は気賀駅で9
時50分集合、10時式典、11時半には植栽終了。ソメ
イヨシノ8本、球根類3200玉ほかを植える。その
後、春～夏にかけて雑草処理の作業がある。パワー浜
松RCには気賀駅を養子にいただいた。よろしくお
願います。

当日の服装は作業服、履物は長靴、移植ゴテ、植え
た後に水をかけるため、一人2リットルの水持参をお
願いたい。



議 事

幹事「地区について学ぼう」

RI 第 2620 地区出向者の 3 名から活動についての説明がありました。

① 地区副幹事 諸星圭吾さんより 「地区大会について」



浜松ハーモニークラブとコホストで 11 月 3 日、4 日に開催する。

大会 1 日目は 11 時から受付があり、パストガバナー、ガバナー補佐、他地区のガバナーも来られ、ホテルオークラ 31 階の「山里」

で食事をしながら打ち合わせ。12 時より会長・幹事の受付、13 時、会長・幹事会をコングレス 31 会議室で開催する。その後、ホテルオークラ 4 階平安の間で晩餐会を開催。

大会 2 日目はアクトシティ大ホールで 8 時 45 分から受付。本会議には、静岡・山梨地区の 1300 名のロータリアンが集う。浜松駅からの誘導は北口に出て、そのまま東へ誘導し、オークラの南側から入場。大ホール、1、2、3 階を使って本会議を開催する。

会議終了後、アクト展示イベントホールにて大懇親会。大ホールの 2、3 階は 2 階の連絡通路を使って誘導。1 階からは 1 回外に出ていただき、歩道を通って展示イベントホールに導く。

展示イベントホールの大懇親会は 1380 名で開催予定。当日はオークラホテル、グランドホテル、ちくやが食事提供する。

出席は 1 日目 30 名、2 日目 41 名。詳細決まり次第連絡する。

② ロータリープログラム委員会副委員長 (青少年交換担当) リビー・ジョーセフ・マテューさん

交換留学生は 3 年間面倒を見る。最初の 1 年間（派遣前の準備）は年間 4 回オリエンテーションを行う。1 回目にアプリケーションフォーム作成し、海外に送付。海外に日本に来たい学生がいれば交換が成立する。日本への交換希望者からアプリケーションフォームをもらい合意がとれれば派遣準備が始まる。



その後、ギャランティーフォームをつくる。それができると学生はビザが取れる。インバウンドとアウトバウンドの学生を同時に面倒見ている。

次年度の留学希望者がこの地区から二人いるので、この二人と交換留学が可能な海外の二人を探している。

そして留学から戻ってきた学生にはローテクスという役割がある。新しい学生が留学に行く前に先輩とし

ていろいろなアドバイスをする。

11 年前、八田先生から「交換学生が万引きをした。だからジョーの通訳が欲しいので手伝ってほしい」と言われ関わり始めた。毎回問題があるわけではないが英語ができる人がいると助かるということで手伝いをしている。



③ ロータリープログラム委員会委員長(統括) 危機管理委員会 委員 米山記念奨学委員会 委員 小澤邦比呂さん

米山奨学委員会などをいかに知ってもらい、活性化するかをお願いする役を務めている。いろいろな委員会が地区にあるが、各クラブを支援するのが役割。私が地区の委員長を始めてから 6 年経つ。地区、ロータリーのあり方について話をする機会が多い。

いま 16 歳のスウェーデンのグレッタ・トゥーンベリさんが地球温暖化の非常事態宣言で活動を始めた。こうした活動に対してロータリーはどう考えているのか。私はその少女の「やるか、やらないか」という発言を聞いて、本当に恥ずかしく思った。



あれほどの魂を持った日本人、大人がいるのか。経営者、ロータリー会員の一人ひとりに見える。自分ではできない活動を広げていけるのがロータリー。このクラブにそれがいいのか。他のクラブにあるのか。地区に出てもそれが感じられない。だから会員が減っていく。

ロータリークラブを、あそこに入りたいと思えるようなクラブにする。これが会員増強につながる。入っている人が行動を起こし、メッセージを送っていくことが必要。

地区の会員数が 3000 名を切っている。かつては 3500 名を超えていた。あるクラブでは 15 人が退会した。ただ単に人を入れれば良いのではない。どういう行動を起こすのか。クラブとしてどういう先を見据えているのかが大事。地区としていろいろな活動をサポートしている。これからは私の代わりに出てくれる人がいるといいなと思う。